

1. 相談支援センターの患者・家族満足度調査実施する。

実績：調査概要について再検討し、予備調査・本調査を行う計画へ修正となった。現在は予備調査にあたる患者・家族の認知度調査シートを作成中であり、3月までに実施予定である。

評価：5点

次年度：認知度調査を基に調査用紙の見直しや改良を行い、満足度調査（本調査）用のシート作成および調査を実施する。満足度調査は次年度以降も継続的に行い相談支援センターの質的評価や広報活動の強化につなげていく

2. 「地域の療養情報 おきなわがんサポートハンドブック 第2版」を患者および家族、医療機関、福祉保健所、市町村などに配布し、「患者必携」の啓発を図る。

実績：沖縄県と共同でがん診療を専門に行っている医療機関、福祉保健所、市町村などに配布を行った。配布施設リストについては、別紙参照。普及啓発部会とも連携し、ラジオ番組での広報も実施した。

評価：10点

次年度：第3版の発行に伴い終了。

3. 患者必携 「地域の療養情報 おきなわがんサポートハンドブック 第3版」を作成する

実績：10月より、当部会が中心となり、患者必携「地域の療養情報おきなわがんサポートハンドブック 第3版」作成に向けた作業部会を立ち上げた。計4回の作業部会を実施（12月現在までで計2回実施している）。完成は、3月1日を予定している。

評価：10点

次年度：第2版に習い、関係機関への配布と普及活動を行う。また「患者必携 おきなわがんサポートハンドブック第3版」評価アンケートを実施する。

4. 「患者さんのチェックリスト」について医療者向けパンフレットを作成する（追加事業）

実績：医師と患者とのコミュニケーションの促進を図ることを目的に、「周知用チェックリスト（下敷タイプ）」を作成し、県内のがん診療に携わる医師の所属する68医療機関へ配布した。配布施設リストについては、別紙参照。

評価：10点

次年度：パンフレットの作成・配布後の評価を行う。

5. 相談支援センターの案内チラシを各自治体や専門施設配布し、普及・啓発を図る。

実績：がん専門施設及び標準治療施設108施設へ配布を行った。

評価：10点

次年度：相談者が気軽に相談できるよう、相談支援センターの周知のために患者・家族に加えて一般市民へもチラシ配布を行う。また、チラシ配布以外の普及啓発活動の実施も検討する。

6. 沖縄県医療機能調査のうち、がんの診療・在宅医療への取り組み・緩和ケアに関する結果を公開するよう沖縄県へ要望する

実績：要望書は、がん診療連携協議会にて承認されたので、沖縄県へ要望書を提出した。

評価：10点

次年度：情報公開ののち、沖縄県がん診療連携協議会ホームページへも掲載する。

#### 7. がん診療を行っている病院の医師対象に行った「セカンドオピニオンアンケート」の分析

実績：分析と調査報告書のまとめが終了し、2012年10月に協力医療機関へ報告書の配布および協議会ホームページにて公開した。

評価：10点

次年度：終了。

#### 8. 相談内容の分析を行う

実績：10月に作業部会を1回開催し、現在使用している相談シートの集計項目の見直しを行った。

さらに3拠点病院の相談支援センターにおける共通のデータ分析ができるような集計シートを作成中であり、今年度中に改定予定。

評価：5点

次年度：3拠点病院間の相談シートと集計シートを共通化して運用を開始し、相談内容の集計と分析を行う。

#### 9. がん相談員を対象とした研修会の企画・運営を行う

実績：各拠点病院で1回ずつの持ち回りとし、沖縄県医療ソーシャルワーカー協会等の共催で研修会を4回開催した。

①那覇市立病院主催 平成24年10月5日（金）

がん相談支援員実務者研修会「チーム医療に貢献するリエゾン精神医学」

②琉球大学医学部附属病院主催 平成24年11月21日（水）

がん相談支援員実務者研修会「がん患者の休業補償」

③琉球大学医学部附属病院主催 平成24年1月28日（月）

がん相談支援員実務者研修会「患者必携 おきなわがんサポートハンドブック」の活用について

④県立中部病院主催 平成25年3月15日（金）

がん相談支援員実務者研修会「がん告知からの患者理解と支援」

評価：10点

次年度：引き続き、継続して研修会を行う。

#### 10. 沖縄県がん相談支援センター相談マニュアルを作成する

実績：部会にて小児がんに関する相談マニュアルを作成する方向となり、初回面接シートを含むたたき台を作成した。

評価：7点

次年度：作業部会を開催しマニュアル作成し、拠点病院で試験的にマニュアルの導入を開始する。

#### 11. 各支援病院等の常勤相談員の配置または増員について県に要望書を作成する。

評価：要望書は、がん診療連携協議会にて承認されたので、沖縄県へ要望書を提出した。

実績：10点

次年度：引き続き、相談支援センターに関する人的整備について沖縄県へ働きかける。

## 平成 24 年度 第 4 回 沖縄県がん診療連携協議会相談支援部会 議事要旨

日 時： 平成 25 年 2 月 28 日（木） 14：00～16：00  
場 所： 琉球大学医学部附属病院 3 階 がんセンター  
出席者： 9 名 樋口美智子（那覇市立病院）、望月祥子（ハートライフ病院）、  
吉本多佳子（沖縄県立中部病院）、宮良久美江（沖縄県立八重山病院）、  
永吉美幸（県立南部医療センター・こども医療センター）  
上原弘美（沖縄県地域統括相談支援センター）  
石郷岡美穂、増田昌人、大久保礼子（琉球大学医学部附属病院）、  
欠席者： 3 名 下地幸子、与那覇 睦美（県立宮古病院）、池田克己（沖縄病院）、  
志茂淳子（ことぶき指定居宅介護支援事業所）、  
陪席者： 1 名 井上亜紀（琉球大学医学部附属病院）

協議に先立ち、平成 24 年度第 3 回沖縄県がん診療連携協議会相談支援部会議事要旨が承認された。

## 【報告事項】

1. 平成 24 年度第 3 回沖縄県がん診療連携協議会相談支援部会議事要旨（資料 1）
2. がん患者ゆんたく会について（10～1 月）  
資料 2-1, 2-2, 2-3 に基づき、10～1 月に各拠点病院にて開催された「沖縄県がん患者ゆんたく会」の報告書について、確認が行われた。那覇市立病院は、参加者がひと桁～12,3 人だが、琉大はコンスタントに 20 名くらい参加されていると報告があった。
3. がん相談件数（10～12 月）  
資料 3-2, 3-3, 3-4 に基づき、樋口部会長より、各拠点病院のがん相談件数（10～12 月）についてと、那覇市立病院は、時間を 15 分単位で取り直すように変更していると報告があった。大久保委員より、琉大は現況報告全てではなく、電子カルテ・院外の方で、欠損ありの状態であると報告があった。樋口部会長より院外の患者さんがなかなか伸びない状況であるとの意見があった。
4. 第 1～3 回 がん相談支援員実務者研修会について  
資料 4-1, 4-2, 4-3 に基づき、樋口部会長より、第 1 回目 10 月 5 日那覇市立病院、第 2 回目、第 3 回琉大病院にて 11 月 21 日、1 月 28 日が開催され、今後開催して欲しいテーマとして「薬の使い方、リエゾンの具体的な関わり方、在宅見取り、告知、民間保険、がん相談の質評価」が上がっているとの報告があった。  
吉本委員より、第 4 回目は中部病院にて、3 月 15 日「がん告知からの患者理解と支援」の計画であるとの報告があった。

## 5. 平成 24 年度の事業計画の評価

資料 5 に基づき、樋口部会長より、1 月 18 日の協議会時点での評価の報告があった。患者満足度調査・医療機能調査公開要望書・相談内容の分析・相談員研修会・小児がん相談マニュアル・常勤相談員の増員要望書については、4 月時点で最終評価を行うことが承認された。

## 6. その他

### ・12/1 九州ブロック地域相談支援フォーラム参加報告（吉本委員）

吉本委員より、本フォーラムは、初めての試みとして九州・沖縄 8 県の相談員対象とし、県を超えた相談員の取り組みやネットワーク作りを目的に実施されたとの報告があった。九州・沖縄各県の取り組み状況の発表があり、沖縄県から相談支援のモデル病院を国が提示してくれたらと要望を出したとの報告もあった。

樋口部会長からも、平成 25 年度も九州ブロック開催が予定されており、全国展開も行うと報告された。

### ・研修報告「がんとソーシャルワーク～就労支援を考える～」（大久保委員）

大久保委員より、社労士の雇用、ワーカーと社労士との協同、研究班の高橋都先生の講演よりがん患者支援に理解のある社労士を育てること、国がん東病院では社労士の雇用(週 1)を始めたこと、などが報告された。法律に関する介入には社労士、それ以前の部分では MSW による相談支援がよいとの意見があった。また、研究班より、ツールとして患者さん向け・Q&A が作成され、HP 上にアップされており、MSW 向け・企業向けも作成されていることが報告された。

### ・サポートハンドブックの新聞広告

事務方より、1/31、2/28、3/28 の沖縄タイムス・琉球新報の広告欄にて、2 社で計 6 回の掲載することが報告された。予算としては、第 3 版の制作費の中で計上されていることも報告された。

## 【協議事項】

### 1. 平成 25 年度の活動計画概要（案）について

### 2. 平成 25 年度の活動経費内訳（案）について

資料 6、及び資料 7-1,7-2 に基づき、樋口部会長より報告があった。24 年度からの続きの事業が多いものの、それに就労と小児がんに対する支援、ピアサポーターと連携した支援やネットワークの構築を図ることを加えた活動内容とすることで、概ね承認を得た。増田委員より、国の施策として県拠点病院が、就労支援の役割を担うために、就労支援のための職員の配置を厚労省から提示されているとの意見があった。

増田委員より、次年度は拠点病院の見直しが行われており、準拠点病院群（北部医師

会、宮古、八重山)の指定について、国がんの基礎研修終了者(相談員)無し、院内がん登録の実施の無しでは、指定が取り消されるであろうという情報提供があった。

3. 地域の療養情報「おきなわがんサポートハンドブック」第3版について

別紙資料(もくじ)に基づき、大久保委員より、2版に比べて増加した項目{小児がんの項目(療養、お金のこと、コラム)、医療安全のコラム、就労支援}について、イラストも、困った顔を出来るだけ無くして明るい印象に変えたとの報告があった。

表紙5案については、手にとってもらいたい・読みやすい観点から、第1希望は裏表合わせてA案で全員の下承を得た。県内の配布については、5月～6月になる予定で、配布案は4月の部会で報告することになった。樋口部会長より、各部会での残部確認のアンケートの依頼があった。

4. 要望書(医療調査、相談員の増員)の内容の修正と送付先の検討について

資料8-1,8-2に基づき、医療調査の結果をHP上での公開の要望書、拠点病院及び支援病院の正規雇用の相談員増員の要望書の送り先について、部会で協議の上、福祉保健部長・県知事宛での2ヶ所に送付することで、医務課に確認してから送付することになった。

5. セカンドオピニオン・リストについて

事務方より、2月末時点で10病院ほど協議会上のリストを更新済みで、3月中旬で19病院の更新を完了する予定であることが報告された。次年度の事業計画に加え、毎年のルーチン作業とすることが協議された。

吉本委員からの提案があり、次年度は、調査時期更新時期を検討し、5月頃に調査、6月以降夏頃に協議会HP上にUPすることが承協議された。

6. 「沖縄県版相談マニュアル(小児がん対応用)」について

別紙資料に基づき、永吉委員より、初回の相談チェックシート(たたき台)の提示があり、今後修正しながらマニュアル作りをすることが報告された。また、石郷岡委員からも、国がんのマニュアルと同じもの、一般的なものではなく、県内のMSWさんの現場の声を反映させた実務的なマニュアル作りをしていきたいとの意見があった。

7. その他

・相談シートの統一について

吉本委員より、シートの集計が手作業になっており、3拠点病院の集計が一举に出来るファイルメーカー(システムやソフト)ができればいいが、難しい現状が

あるとの現状報告があった。

大久保委員より、チェックする項目は、ほぼ統一できているので、まずは、3病院のデータが入っているフォーマット（比較できる項目を揃えたもの）をゴールとしていいのではないかと意見が出された。

- ・那覇市立病院の組織図・人員配置図（樋口部会長）

樋口部会長より、がん診療連携室の専属事務方の配置や、指定要件による職務分掌など、那覇市立病院の組織体制の説明があった。

- ・2/27 第2回ぴあサロンについて（上原委員）

上原委員より、県庁ロビーで第2回ぴあサロンが開催され、ぴあサポーター研修修了者9名を含む参加者が20数名であったことが報告された。

- ・八重山病院より（宮良委員）

宮良委員より、八重山病院では、相談室に看護師がいるが、MSWが兼任で1名しかいないので、相談業務を充実させたいとの意見が出された。

8. 次回、平成25年度の第1回相談支援部会開催日について

第1候補日：平成25年4月18日（木）

第2候補日：平成25年4月25日（木）